

開講科目名	日本語作文初中級B			
成績入力担当	播磨 涼子	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG030	曜日・時限等	火3(対面)	時間割コード

授業のテーマ

授業のテーマ：初中級レベルの作文能力の育成を図る。

授業の到達目標

授業の到達目標：

1. 身近な事柄について短い文章を書くことができる。
2. 身近な事柄を文章で表現するために必要な文型、語彙、表現、表記法等を理解し運用することができる。
3. 論理的で読みやすい構成を作って書くことができる。
4. 様々なタイプの文章表現があることを理解し、書くことができる。
5. 読み手を意識したわかりやすい文章を書くことができる。

授業の概要と計画

シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。

本授業では、日本語読解初中級Aの内容と連動し、読解のテーマと同じテーマで授業内で作文を書く。

授業のスケジュールは以下の通り。

- 第1回 6/16 アンケート
- 第2回 6/23 映画の紹介
- 第3回 6/30 常識
- 第4回 7/7 社会問題
- 第5回 7/14 環境問題
- 第6回 7/21 手紙
- 第7回 7/28 まとめ、期末試験
- 第8回 8/4 課題学習

週1回 全8週
1科目15時間

成績評価方法

成績評価方法：

授業での活動、毎回の提出物、試験で評価する。

成績評価基準

成績評価基準：

1. 授業への参加度（出席、授業中の態度・発言）20%
2. 提出物 50%
3. 期末試験 30%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：交換留学生(特別聴講生)可

本授業は初中級レベルの授業である。初級レベルの学習を終えている、あるいは、CIE-JTestで「初中級レベル」と判定された学習者を対象とする。

関連科目情報：

「日本語読解初中級B」を同時に履修することが望ましい。

「日本語作文初中級A」を事前に履修することが望ましい。

事前・事後学修

準備学習・復習：

受講生はテーマの読解教材を読んでくること。授業内で書き終わらなかった作文は宿題とする。教師の添削を受けた作文は読み返し、わからないことは質問したり調べたりし、作文力向上に努めることが望まれる。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

rh[a]gold.kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

授業で学習したことを使って、いろいろな機会に文や手紙を書いてみましょう。

今年度の工夫

ピア学習を取り入れる。

教科書

牧野昭子・澤田幸子・重川明美・田中よね・水野マリ子2001『みんなの日本語初級Ⅱ 初級で読めるトピック25』（スリーエーネットワーク、978-4883191857、¥1,512）

みんなの日本語初級Ⅱ 初級で読めるトピック25 / 牧野昭子・澤田幸子・重川明美・田中よね・水野マリ子：スリーエーネットワーク，，ISBN:9784883191857

参考書・参考資料等

みんなの日本語初級2 / スリーエーネットワーク 編 5A Network：スリーエーネットワーク，1998，ISBN:9784883191031

授業における使用言語

日本語と英語

キーワード

日本語、作文、初中級、交換留学生(特別聴講生)可